Shinto News

2024.12

第73号

最近のトピックス Topics

癌に対する薬物治療と心血管疾患

循環器内科部長
中村　尚太

心機能低下をきたす薬剤としては、1970年代から使用されているアントラサイクリン系抗癌剤が有名ですが、これは用量依存性に発生して、一部の患者さんに不可逆的な心筋障害を起こし、失われた心筋細胞が復活することはありません。近年、癌治療の進歩は著しく、分子標的薬や免疫チェックポイント阻害剤の使用が増加したことにより、心血管合併症の頻度も高くなっています。

HER2阻害薬の心毒性

HER2遺伝子は唾液腺癌、胃癌、乳癌、卵巣癌で発現し、現在、HER2陽性の乳癌、胃癌に対してHER2阻害薬が使用されています。一方、HER2は心臓や神経にも存在し、細胞分化や増殖に関わるため、HER2阻害薬により心筋細胞の生存や保護に関わるシグナル伝達が阻害され細胞ダメージをきたすと言われています。また、HER2受容体はアントラサイクリン投与後の心筋細胞に代償的にアップレギュレートして発現し、心筋細胞のダメージへの保護、生存に寄与するため、乳癌治療でのアントラサイクリンとHER2阻害薬の逐次治療において、アントラサイクリンによりダメージを受けた心筋細胞がHER2阻害薬によりその修復が阻害されると考えられます。

HER2阻害薬による心不全の発生頻度は、アントラサイクリンとの同時投与で27%、逐次療法でも1.0～ 4.1%で心不全症状、4.4～18.6%で左室駆出率の低下を来すと言われています。左室機能低下が発生した場合、HER2阻害薬の休薬により約2～4ヵ月程度で左室機能の改善がみられる事が多いと言われていますが、約20～ 30%の症例で心機能低下が遷延するようです。治療としては、HER2阻害薬の休薬に加えて、通常の心不全治療（レニン・アンジオテンシン阻害薬やβ遮断薬）を行います。

VEGFR-TKIの心血管毒性

VEGF受容体に対するチロシンキナーゼ阻害薬（VEGFR-TKI）は血管新生阻害薬の一つで、様々な癌の治療に用いられています。VEGFは一酸化窒素とプロスタサイクリンを増加させ、エンドセリン-1産生を抑制するため、VEGFが阻害されると血圧が上昇します。また、心筋障害・心不全（～5 %）、血栓塞栓症（0.6～11.5%）、QT延長（0.6～13.4%）などの心血管毒性も見られます。VEGFR-TKIを対象とした心血管毒性の管理法の研究は少なく、特異的な管理法は未確立です。

免疫チェックポイント阻害薬の免疫関連有害事象（irAE）

免疫チェックポイント阻害薬（ICI）は、免疫系の活性化に伴って、自己免疫疾患に類似した副作用を引き起こすことが知られており、免疫関連有害事象（irAE：immune-related adverse event）と呼ばれています。皮膚、消化器、呼吸器、内分泌、神経など全身のあらゆる臓器に発現することが報告されていますが、心臓におけるirAEで問題となるのは心筋炎です。心筋炎の発症頻度は1 %程度と言われていますが、中には劇症化する症例が存在し、致死率は50%に達します。ICIによる心筋炎の発症機序として、心筋細胞に発現しているPD-L1と、T細胞上のPD-1の結合を阻害することで過剰な免疫応答が生じている可能性が考えられますが、それ以外にもいくつかの機序が推定されており、正確なメカニズムは明らかになっていません。

心筋炎に特異的な症状はなく、軽微な検査値異常のみで自覚症状を認めないものから、劇症型心筋炎に進行して急変する症例まで多岐にわたります。心筋炎の発症はICI開始3ヵ月以内が多いと言われており、9割以上にトロポニン上昇を認めますが、約半数では左室収縮能が正常であるため、心エコーはあくまで補助的な診断ツールです。現時点では心筋生検が診断のゴールドスタンダードのようです。ICI投与中に自覚症状、あるいはトロポニン上昇や心電図異常が出現した場合、ICIを休薬した上でステロイド投与が必要となりますが、急速に劇症化し、機械的補助循環（VA ECMO/PCPS）が必要となる場合もありますので、当院では連携している熊本大学病院に紹介しています。

理　念	基本方針
私たち くまもと森都総合病院は 質の高い医療を通じて 地域に愛され、親しまれる 病院を目指します。	1. 患者さんとの良好なパートナーシップを築き、満足度の高い、心かよう医療の提供に努めます。 2. 地域医療機関との連携を密にし、地域に根ざした医療サービスを推進します。 3. 優れた医療人を育成し、安全で質の高い医療を提供します。

KUMAMOTO SHINTO General Hospital
つながる医療。ひろがる未来。
医療法人 創起会
くまもと森都総合病院
〒862-8655　熊本市中央区大江 3-2-65
TEL 096-364-6000（代表）
FAX 096-362-5204
https://www.k-shinto.or.jp

左から　田中憲一郎医師、松尾敦子部長、城野昌義特別顧問、松﨑恵里奈医師

診療科紹介　皮膚科

皮膚科は常勤医師３名と非常勤医師１名で診療を行っています。

月～金曜の午前中に外来診療、火曜・金曜午後に手術を行っています。

外来診療

・皮膚疾患全般および毛髪、爪疾患の診断・治療を行っています。
・慢性難治性皮膚疾患に対して生物学的製剤導入などの治療を多く行っています。

【適応疾患】乾癬・アトピー性皮膚炎・結節性痒疹・円形脱毛症・特発性慢性蕁麻疹・化膿性汗腺炎・掌蹠膿疱症など

当科で治療の選択、導入から維持まで行いますが、かかりつけの皮膚科クリニックで治療を継続していただくことが可能な薬剤も増えています。

また、治療に悩む患者さんには薬剤の説明や医療費の相談だけでも行いますのでお気軽にご紹介ください。

入　院

主に以下の疾患で入院治療を行っています。

・皮膚感染症（帯状疱疹・成人水痘、蜂窩織炎、丹毒など）
・自己免疫性水疱症（水疱性類天疱瘡、天疱瘡）
・専門的処置を必要とする疾患（難治性皮膚潰瘍、熱傷、褥瘡など）
・中毒疹、薬疹
・炎症性皮膚疾患の増悪（アトピー性皮膚炎、慢性湿疹、乾癬、蕁麻疹など）
・腫瘍切除

特に、高齢者の下腿潰瘍は難治であり自宅での処置が十分できなかったり、疼痛のためADL低下の原因となったりします。多くは静脈性潰瘍であり、潰瘍の治療だけでなく静脈うっ滞に対する圧迫療法の併用が必要です。当院では、地域包括ケア病棟を利用して、リハビリを行いながら長く専門的処置を継続することができます。

手　術

皮膚良性腫瘍（粉瘤、脂肪腫、脂漏性角化症など）、悪性腫瘍（ボーエン病、有棘細胞癌、基底細胞癌など）のほか、褥瘡のポケット切開などの手術を行っています。腫瘍の部位やサイズによっては外来日帰り手術が可能です。また、腫瘍切除後の皮膚欠損に対して植皮や皮弁術による再建も行っています。

皮膚症状は内科的疾患自体やその治療の影響を受けて出現することも多いです。総合病院の利点を生かして、他科と連携して治療を行っていきます。

帯状疱疹については、発熱や倦怠感などの全身症状がある場合や、高齢者、持病・合併症のある患者さん、痛みが強い、自宅では皮疹の処置が困難な場合などが入院適応となります。通常の予約ではなく、直接ご連絡をいただければ対応しますのでご連絡ください。

どうぞよろしくお願いします。

（皮膚科部長　松尾 敦子）

『第32回 Shinto公開医学講座』のご案内

テーマ　白血病について（仮）

日　時　2024年12月19日（木）17：30～
場　所　くまもと森都総合病院 5F 大会議室
講　師　血液内科 医長　渡邊 祐子

開催方法　ハイブリッド開催（Web 参加も可能です）
参加方法　下記 URL もしくは QR コードよりお申し込みください。
お申し込み確認後、招待メールをお送りさせていただきます。
（https://bit.ly/3Z0BbZG）

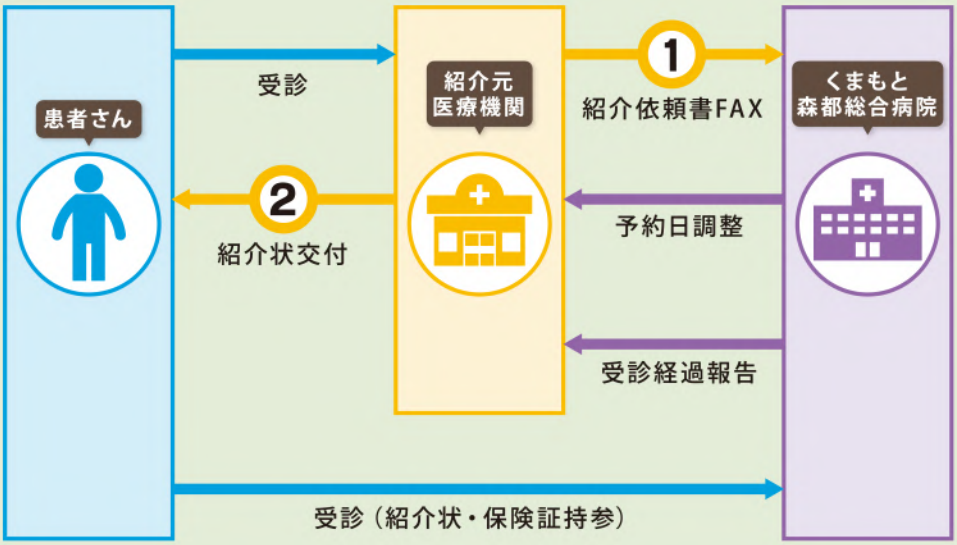
① 外来予約依頼書を当院へFAXをお願いします。

外来予約依頼書を当院地域医療連携室へ**FAX（096-364-8585）**ください。所定書式を準備しております。
当院ホームページからダウンロードも可能です。

https://www.k-shinto.or.jp/　トップページ ＞ 医療関係者の方へ ＞ **患者紹介について**

② 患者さんへ紹介状をお渡しいただきますようお願いします。

受診予定日が決まりましたら貴院へ予約票をFAXさせていただきます。
患者さんに**紹介状（診療情報提供書）**をお渡しいただき、受診当日にご持参いただけますようご案内をお願いいたします。



紹介予約（FAX予約）受付時間	FAX送付先　地域医療連携室
平日9時00分から16時00分まで	FAX 096-364-8585

※受付時間外にいただきましたFAX紹介につきましては、翌診療日に予約調整とさせていただきます。

電話紹介について　**緊急性が高く、当日受診が必要な患者さんのご紹介はお電話にてお願いいたします。**

ご不明な点につきましては下記までお電話くださいますようお願いします。

▼

地域医療連携室　Tel.096-364-9790　Fax.096-364-8585

医療法人 創起会
くまもと森都総合病院

外来診療担当医一覧

〒862-8655
熊本市中央区大江三丁目2番65号
TEL 096－364－6000（代表）
FAX 096－362－5204
URL：https://www.k-shinto.or.jp

受付時間　午前 8:00～11:00（再来機の受付は7:30より開始）　※急患はこの限りではございません　2024年12月1日現在

	午前/午後	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
内科診療：午前〔初診及び再診〕・午後〔再診のみ〕						
総合診療科	午前	濵 諒輔 初診	吉田 健	宮村 智裕	吉田 健	宮村 智裕
		宮村 智裕 再診	濵 諒輔	吉田 健 再診		濵 諒輔
	午後			宮村 智裕 再診 訪問診療		
肝臓・消化器内科	午前	藤山 重俊	宮瀬 志保	藤山 重俊	宮瀬 志保	柚留木 秀人
		柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己	東野 奈津己	泉 見奈
内視鏡担当	午前	宮瀬 志保	東野 奈津己	宮瀬 志保	柚留木 秀人	宮瀬 志保
		東野 奈津己	柚留木 秀人	柚留木 秀人	泉 見奈	東野 奈津己
		泉 見奈		泉 見奈		
血液内科	午前	藤原 志保	藤原 志保	下村 泰三	藤原 志保	下村 泰三
		大徳 勇人	鈴島 仁	渡邊 祐子	渡邊 祐子	宮川 寿一
			宮川 寿一			
	午後	下村 泰三	渡邊 祐子		宮川 寿一	大徳 勇人
					鈴島 仁	
腫瘍内科	午前	山本 春風				山本 春風
	午後		山本 春風			
循環器内科	午前	中村 尚太		中村 尚太	中村 尚太	中村 尚太
	午後	中村 尚太		中村 尚太		
腎臓内科	午前				水足 謙介	水足 謙介
	午後	水足 謙介				
リウマチ膠原病内科	午前	高岡 宏和 初診	高岡 宏和 再診		高岡 宏和 再診	
	午後			高岡 宏和 再診		
呼吸器内科	午前			古川 嗣大（熊大） 再診		
代謝・内分泌内科	午後			有馬 由佳（熊大） 再診		
外科	午前	横山 幸生	手術	横山 幸生	横山 幸生	田嶋 ルミ子
		田嶋 ルミ子				
	午後	手術 検査	手術	手術 検査	手術 検査	検査
乳腺センター（乳腺外科） 午前 8:30～12:00 午後 14:00～16:00 （完全予約制）	午前	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診	手術	初診担当医 再診 手術
	午後	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文	大佐古 智文
		中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓	中野 正啓
		藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子	藤末 真実子
産婦人科	午前	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司	永井 隆司
		岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠	岡島 翠
	午後	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	手術	片渕 秀隆（女性相談外来） 手術	永井 隆司 予約
						岡島 翠 検診
整形外科（完全予約制）	午前		砥上 若菜 再診	髙田 興志 再診		
	午後					担当医 再診
リハビリテーション科	午前				細川 浩 再診	
眼科（完全予約制）	午前	草野 雄貴	草野 雄貴	草野 雄貴		草野 雄貴
		藤崎 雅彦	藤崎 雅彦	藤崎 雅彦 9:30診療開始	手術	藤崎 雅彦 9:30診療開始
		松本 光希	松本 光希 9:30診療開始			
	午後	手術	担当医 再診	手術	手術	手術
					松本 光希	
皮膚科（完全予約制）	午前	田中 憲一郎	松尾 敦子	松尾 敦子 訪問診療	城野 昌義 再診	松尾 敦子
		松﨑 恵里奈	松﨑 恵里奈	田中 憲一郎	田中 憲一郎	松﨑 恵里奈
	午後		手術		回診	手術
緩和ケア科	午前	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明	橋口 清明
腫瘍精神科	午前	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	木下 裕子	
麻酔科 ペインクリニック（完全予約制）	午前	洲崎 祥子		田口 裕之		田口 裕之
		田口 裕之（術前診療）		洲崎 祥子（術前診療）		田口 裕之（術前診療）
禁煙外来（予約制）	午前					田口 裕之
放射線科（幸秀明・西東葉子）	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医